

市長退任のあいさつ

～さらなる元気な川口を願って～

私は、「公平公正であること」「弱いところに光をあてる」という政治信条のもと、「川口の元気づくり」を成し遂げるため、市長就任以来3期12年にわたり、市政運営に全力で取り組んで参りましたが、2月8日の任期満了をもって退任することとしました。

これまでを振り返りますと、まず、財源となる市税収入などの歳入確保に優先して取り組み、全国で最低水準であった市税収納率は大幅に向上しました。この貴重な財源を基に、「3大プロジェクト」(火葬施設「めぐりの森」を含む赤山歴史自然公園の整備、川口市立高等学校の整備、市役所新庁舎の建設)をはじめとして、市内全小・中学校の普通教室へのエアコン設置など教育環境の整備や、子育て・保育環境の充実、地域経済の活性化、水災害対策や土地区画整理事業による都市基盤整備など、市民ニーズを捉えたさまざまな施

策を推し進めることができました。

また、平成30年の中核市移行に併せて市保健所を開設し、そのわずか1年後にパンデミックとなった新型コロナウイルス感染症対策における、医療提供体制の強化や「川口モデル」によるワクチン接種の推進など迅速かつ的確な取り組みは、中核市移行の大きなメリットであったと実感しています。

そして、昨年末には、新たな文化・芸術の創造発信拠点となる川口総合文化センター・リリアの大規模改修と市立美術館の建設工事が完了し、さらには(仮称)神根総合運動公園の整備や川口駅への上野東京ライン停車に向けた基本協定の締結など、将来を見据えた重要施策も道筋がついたことにより、私がこれまでに掲げた公約のほぼ全てが実現し、川口の元気につながったものと考えています。これらもひとえに、市民の皆さんのご理解と



川口市長 奥木信夫

ご協力の賜物と心から感謝と御礼を申し上げます。

今後は、バトンを受け継ぐ新しい市長のもと、これから市政が新たな視点や柔軟性を持った取り組みでさらに元気に、また、市民の皆さんのが希望に満ちたまちとなることを心から願うとともに、私も一市民として、我がまち川口の発展を応援し、少しでもお役に立てるよう努めていきたいと思っています。

12年間本当にありがとうございました。



奥ノ木市政 『12年のあゆみ』